

令和8年度

町民税・県民税申告書

猪名川町長様
年月日提出

住所			
フリガナ	世帯主の氏名		
氏名			
生年月日	年	月	日
個人番号	電話番号		

※住所、氏名、生年月日等を記入してください。電話番号も必ず記入ください。

受付印

※令和7年1月1日～令和7年12月31日までの収入等についてご記入ください。

※「営業等」のあつた人、「所得のなかつた人」は裏面にも記入してください。添付書類は裏面に貼つてください。

所 得 金 額	種類・種目		Ⓐ 収入金額(円)	Ⓑ 必要経費(円)	Ⓒ 専従者控除額(円)	所得金額(Ⓐ-Ⓑ-Ⓒ)(円)		
	営業等		①			②		
	農業		③			④		
	不動産		⑦			⑧		
	□利子・□配当		⑨□ ⑪□			⑩□ ⑫□		
	給与		年間収入額		特定支出控除額	給与所得金額		
			⑬	⑮	⑯	⑭		
	公的年金等		⑯	⑰	⑱	⑲		
	業務		⑲	⑳	㉑	㉒		
	その他		⑳	㉑	㉒	㉓		
雑所得の計						㉔		
総合課税の譲渡	Ⓐ 収入金額(円)	Ⓑ 必要経費(円)	Ⓒ 差し引き(Ⓐ-Ⓑ)	Ⓓ 特別控除額	所得金額(Ⓒ-Ⓓ)(円)			
	短期		㉕	㉖	㉗			
	長期		㉖	㉗	㉘			
	一時		㉗	㉘	㉙			
	譲渡・一時の合計	㉘ + { (㉖ + ㉙) × 1/2 }				㉚		
合計 ②+④+⑧+⑩+⑫+⑭+㉓+㉚						㉛		
所得から差し引かれる金額に関する事項	Ⓐ 損害金額	Ⓑ 補填される金額	Ⓒ 災害関連支出額	生命保険料控除	新生命保険料の計	旧生命保険料の計	介護医療保険料の計	
	損除			㉕	㉖	㉗	㉘	
	種別(どちらか一方に✓を記入してください)							
	医療費控除	Ⓐ 医療費	Ⓑ セルフメディケーション	Ⓒ 差引金額	㉙	㉚	㉛	㉜
	社会保険料控除	Ⓐ 支払医療費等	Ⓑ 補填される金額	Ⓒ 差引金額	㉖	㉗	㉘	㉙
	扶養保險料控除	国保・介護・後期	国民年金	その他	㉚	㉛	㉜	㉝
	65～66・128	65 □寡婦・128 □ひとり親控除	66 □勤労学生控除	(学校名)	㉖	㉗	㉘	㉙
	寡婦・ひとり親勤労学生控除	(死別 □ 生死不明 □ 離婚 □ 未帰還 □ 未婚)			㉖	㉗	㉘	㉙
	67	氏名	障害の程度	級度	㉖	㉗	㉘	㉙
	障害者控除	氏名	障害の程度	級度	㉖	㉗	㉘	㉙
68～69	配偶者の氏名	生年月日		㉖	㉗	㉘	㉙	
配偶者控除	配偶者の氏名	明・大昭・平	年	㉖	㉗	㉘	㉙	
・配偶者特別控除	配偶者の合計所得金額	501	円	㉖	㉗	㉘	㉙	
・同一生計	個人番号			㉖	㉗	㉘	㉙	
配偶者	氏名	生年月日	同居別居の区分	統柄	16歳未満	特親	所得金額	
・	大・昭・平・令	□ 同居 □ 別居		□	万円	万円	万円	
個人番号								
70・131	個人番号	大・昭・平・令	□ 同居 □ 別居	□	万円	万円	万円	
扶養親族特別控除	個人番号	大・昭・平・令	□ 同居 □ 別居	□	万円	万円	万円	
特定親族特別控除	個人番号	大・昭・平・令	□ 同居 □ 別居	□	万円	万円	万円	
所得金額調整控除に関する事項	個人番号	大・昭・平・令	□ 同居 □ 別居	□	万円	万円	万円	

※別居の扶養親族・特定親族特別控除及び所得金額調整控除に係る親族がいる場合には、裏面⑧に氏名、住所等を記入してください。

○寄附金に関する事項
都道府県、市区町村分(ふるさと納稅分) (特例控除対象)
兵庫県共同募金会、 日赤兵庫県支部分、 都道府県、市区町村分 (特例控除対象以外)
県
町

○所得金額調整控除に関する事項
調整前給与所得
(13)-850万円) × 0.1
(13)+(52)-10万円
K - T - t

①を求めるときのKと52は上限10万円

コード	所得金額等(円)
503	専従者控除合計(円)
青 1	白 0
控対配	同配
有 無 老	特障 有 老
57	1 1 2
右のデータ欄には記入しないで下さい。	控除対象扶養等 16歳未満
特定	老人 合計 その他 特親
同居	1 1 2
扶養障害特障	未成年併微
同居	2 2
本人該当事項	所得調整控除
特障 普障 寡婦 ひとり親 勤労	1 2 1 2 5
宛名番号	
連絡番号	

①営業等所得収支内訳書

屋号() 業種()

事業所所在地()

科 目		決 算 額	科 目	決 算 額
売上(収入)金額 (雑収入を含む)	①	経 費	消耗品費 ⑯	
期首たな卸高 ②			減価償却費 ⑰	
仕入金額(原価) ③			福利厚生費 ⑱	
期末たな卸高 ④			給料・賃金 ⑲	
差引原価(②+③-④) ⑤			利子割引料 ⑳	
差引金額(①-⑤) ⑥			地代・家賃 ㉑	
租税公課 ⑦			貸倒金 ㉒	
荷造運賃 ⑧			外注工賃 ㉓	
水道光熱費 ⑨			㉔	
旅費交通費 ⑩			㉕	
通信費 ⑪			雜費 ㉖	
広告宣伝費 ⑫			㉗	
接待交際費 ⑬			専従者控除額 ㉘	
損害保険料 ⑭			㉙	
修繕費 ⑮			所得金額 ㉚	
			㉛	

③事業専従者に関する事項

氏名	続柄	生年月日	従事月数	専従者控除額 箇月
個人番号	:	:	:	:
氏名	続柄	生年月日	従事月数	専従者控除額 箇月
個人番号	:	:	:	:

⑤事業税に関する事項

事業所税の非課税所得	円
損益通算の特例適用前の不動産所得	円
事業用資産の譲渡損失など	円
前年中の開廃業月日	月 日 開始・廃止
事業所等の所在地	

⑧別居の扶養親族等に関する事項

1	フリガナ 氏名	個人番号	住所	国外居住	□配偶者 □30歳未満又は70歳以上 □留学 □障害者 □30万円以上の支払
2	フリガナ 氏名	個人番号	住所	国外居住	□配偶者 □30歳未満又は70歳以上 □留学 □障害者 □30万円以上の支払

※国外居住者の場合は送金関係書類等が必要です。

⑨納付方法等に関する事項

1. 給与・公的年金等に係る所得以外の町民税・県民税の納付方法

<input type="checkbox"/> 給与から差引き (特別徴収)	<input type="checkbox"/> 自分で納付 (普通徴収)
--	--

備考

⑩前年中に収入がなかった人の記入欄(該当する番号を○で囲み、その内容について記入してください)

1. 下記の者の扶養または援助を受けて生活していた。

氏名 _____ 続柄 _____ 住所 _____ (※同居の場合は記載不要)

2. 遺族年金、障害年金等を受給していた。(いずれかの受給の種類に○をしてください。)

3. 雇用保険を受給していた。 ____ 年 ____ 月退職 受給期間 ____ 年 ____ 月から ____ 年 ____ 月まで

4. 預貯金等で生活していた。

5. その他収入がなかった理由(失業・傷病等)、および生活費はどうされていましたか。(生活状況を具体的に記入してください。)

添付書類などはここに貼ってください。

のりじろ